

## 配電自動化学業所間連係システムの導入について

平成11年12月1日  
北陸電力株式会社

当社では、かねてより、配電系統運用の高度化に向けて、「配電自動化システム」の整備を進めておりましたが、この度、複数事業所間での広域運用を可能とする事業所間連係システムの導入を完了し、12月より運用を開始いたしましたのでご案内いたします。

1. 配電自動化システムとは：  
事故停電時、現地に出向いて手動で行っていた開閉器（電気を流したり止めたりする装置）の操作を、事業所（支店・支社・営業所）から遠隔操作することにより停電時間の短縮を図る目的で当初導入され、その後、系統運用に係わる業務を計算機で自動的に処理するシステムへと発展してきました。
2. 拠点事業所への配電自動化新システム導入：  
平成8年度より拠点となる14事業所へ配電自動化新システムの導入を開始し、今回完了した。新システムはEWSを組み合わせたクライアント/サーバ型の構成であり、応答性、拡張性、コンパクト性に優れたシステムです。システムの概要および導入のメリットは次のとおりです。  
  
[新システムの機能概要]
  - ・事故停電時の自動復旧機能
  - ・事故停電情報の社内パソコンへのリアルタイム表示
  - ・営配総合システム（お客さまデータと配電設備データを総合的に管理するシステム）との連係による配電線区間データの自動更新機能等  
[導入のメリット]
  - ・高度な配電系統運用により設備投資の抑制
  - ・お客さま対応の迅速化
  - ・設備管理、メンテナンス労務量の大幅な削減
3. 事業所間連係システムの導入：  
拠点事業所への新システム導入完了に合わせて、拠点事業所と傘下の事業所のシステムを連係することにより、拠点事業所システムの機能を傘下の事業所全域に展開し、複数事業所間での広域な配電系統運用を可能としたものです。

以上